

# 連携医院のご紹介

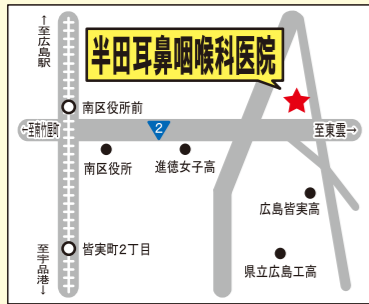
今回は「患者さんに笑顔で帰っていただくこと」を心がけておられます 半田耳鼻咽喉科医院 半田徹先生です。



半田院長と副院長とスタッフ

## 半田耳鼻咽喉科医院

〒734-0001  
 広島市南区出汐1丁目12-2  
 電話 / 082-251-0729  
 F A X / 082-253-6981  
 院長 / 半田 正文  
 副院長 / 半田 徹  
 診療科目 / 耳鼻咽喉科



### ○いつ頃開業されましたか。

昭和36年7月1日、福岡出身の父が縁あってこの地に開業いたしました。そして、今からちょうど10年前に私も就任しまして以来、2名体制で診療にあたっております。

### ○クリニックの特徴について教えてください。

アレルギー性鼻炎を持った方へのレーザー治療に力を入れております。また、アイチケットと呼ばれる受付システムの導入や医院の改装など、患者さんの受診環境を少しでも快適にできるよう、気を配っております。

### ○診療で大切にしていることは何ですか。

患者さんの悩みをしっかりと聞き、喜んで帰っていただくということを大切に考えております。特に、長くご利用くださっている方々から医療以外のご相談を受ける機会も多いので、しっかりとお話を聞き、治療だけでなくご相談への助言も心がけております。

### ○開業医のやりがいについて教えてください。

大切にしていることの裏返しですが、病気が治り、笑顔で帰っていただけたら、それが何よりのやりがいですね。それがあから「明日も頑張ろう」という気持ちになります。

### ○県病院について一言お願いします。

急患への対応が早く、本当に頼りになる存在です。連携している患者さんの情報もしっかりといただけており、助けております。



半田耳鼻咽喉科医院外観

### 【取材後記】

先生方と各スタッフのやり取りに笑顔や優しさがあふれ、温かい雰囲気がとても印象的でした。

## 県立広島病院からのお知らせ

### クリスマスコンサート

**とき** 平成26年 12月25日(木)  
 15:00~  
**ところ** 中央棟1階 中央玄関ホール  
**内容** プロテウスアンサンブルによる演奏  
**対象** どなたでもご覧になれます  
**問合せ先** 総務課 庶務係  
 TEL:082-254-1818  
 内線(4228)



### 年末年始 休診のお知らせ

年末年始の外来診療につきまして、次の通りとさせていただきます。皆様には大変ご不便をおかけしますが、よろしくお申し上げます。

2014 12月	26日 金	平常通り
	27日 土	休 診
	28日 日	
	29日 月	
	30日 火	休 診
31日 水	※内科・小児科のみ8:30~17:00まで救急診療	
2015 1月	1日 木	休 診
	2日 金	
	3日 土	
	4日 日	平常通り
	5日 月	

### 紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費の他2,690円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ち下さい。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承下さい。

## KBネット

現在の参加医療機関 (11月11日現在)

**191** 機関  
 問合せ先 地域連携センター  
 電話(082)252-6228(直通)

# もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。  
 県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

## 地域健康フォーラムを開催しました



『意外と知らない肺の病気—子どもから大人まで—』について皆さんとともに考える『第9回 地域健康フォーラム』を10月4日(土)に開催しました。

### ★地域健康フォーラムの趣旨

現在の医療は、地域の病院や診療所などの医療機関がそれぞれの特徴を活かし、役割を分担して診療を進めるという大きな流れにあります。そのためには、病院と診療所などの連携を強化し、患者さんが療養する「地域完結型医療体制」を目指すことが必要となっております。

当院は南区医師会や、広島市南区地域保健対策協議会と共に、患者さんや住民の皆様のご理解をいただきながら地域の医療機関との連携の強化を推進しております。

地域健康フォーラムはこの連携推進の一環として毎年企画し、今回は第9回目を迎えました。

### ★第9回地域健康フォーラムでは

『意外と知らない肺の病気—子どもから大人まで—』をテーマに当院呼吸器内科石川部長、小児科神野主任部長、江島医院の山木戸院長の3人がインフルエンザ、肺炎、肺がん、ぜん息などの診断や予防について紹介しました。講演の後は参加者の方々と共にパネルディスカッションを行い、さまざまな角度からの質疑に、参加した皆さんは熱心に聞き入っていました。質疑応答については当院ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>



左から石川部長、神野主任部長、江島医院の山木戸院長

来年も10月に『地域健康フォーラム』を開催します

会場では血圧測定と、血液中の酸素飽和濃度測定、健康相談も実施しました



# 私のこだわり 其の六

院長補佐(兼) 地域連携センター長(兼)  
耳鼻咽喉科頭頸部外科 主任部長  
福島 典之



## 出来る男は 青のボールペン



あまり「こだわり」はありません。朝は出された服を着て出勤し、日中は割り当てられた仕事を淡々とこなし、夜は出されたものを飲んで食べて、そして寝ます。車もガソリン補給と適度なオイル交換で動けばよく、ゴルフボールも球形をしていればさほど問題はありません。赴任以来13年、慢性中耳炎に対する鼓室形成術が2,000件を超えましたが、特に何かにこだわったという思いはありません。毎週毎週手術をしていたら、いつの間にか2,000件を超えたのです。書いた手術記録も2,000枚を超えました。手術記録は当然のことですがその日のうちに自分で書きます。

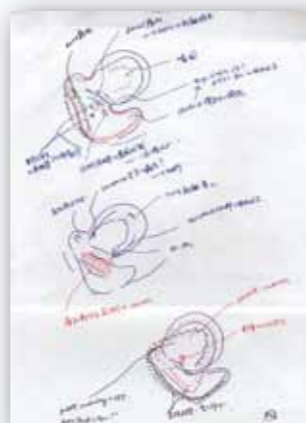
手術記録は3色ボールペンで、特に青色を基調にして記載します。ボールペンは某社のサラサラかける3色ジェルボールペンを使います。このボールペンは大学病院にいた頃に某社の販促商品としてもらったものですが、以来このボールペン以外は使いたくありません。握り心地も私の指にフィット



私の『勝負ペン』

する太さで、書き心地は万年筆に近いものがあります。先端も滑り過ぎず、筆圧も軽めに書けます。なぜか私の悪筆も美文字になったような気がします。特に勝負の時はこのボールペンの青を使います。ということで、文房具店で大人買いをしています。

最近、受験生などに青色ボールペンがブームだそうです。また、出来る男は「青」を使うとも言われています。青色は副交感神経を刺激し心身をリラックスさせる効果があるのだそうです。あなたも一度このボールペンの「青」を試してみてください。



3色全て活用しています!



青色だと一目瞭然判りやすい!

## 糖尿病 チーム

糖尿病は生活習慣病の一つです。最近ではメタボリックシンドロームが注目を浴びています。糖尿病が疑われる人は年々増加しており、治療をせず放置すると様々な合併症を引き起こします。

当院では医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、歯科衛生士が、チームを組んで患者さんの糖尿病治療に取り組んでいます。

『糖尿病チーム』は患者さんの糖尿病に関する様々な知識の習得と合併症の検査を目的とした、2週間の糖尿病教育入院を実施しています。



フットケアの様子

入院中に糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害、動脈硬化症(虚血性心疾患、脳梗塞)の有無について検査を行い、合併症を認めた場合は眼科、腎臓内科、脳神経内科、循環器内科、脳神経外科と連携をとりながら診察しています。また、糖尿病壊疽から下肢切断を予防するために看護師がフットケア(足の手入れ)を行っています。2か月に1回のスタッフミーティングにおいては、糖尿病教室の見直しや糖尿病についての勉強会を定期的に行い、糖尿病患者さんへのケア向上に努めています。

### 活動内容

- ・糖尿病教育入院
- ・外来糖尿病教室
- ・糖尿病患者さんの集い
- ・フットケア外来
- ・糖尿病透析予防外来
- ・インスリン自己注射指導
- ・血糖自己測定指導
- (いずれも当院 外来患者さん対象)
- ・その他学会、講習会

# 外科医の独り言 no.39

## 「心」が「亡」くなる

わが家の出勤前のいつもの光景です。玄関で「行ってきます」と叫ぶと妻が駆け寄ってきて「財布持った?携帯持った?鍵持った?」と尋ねます。「うん、うん、うん」と3回返事をしてやっと家を出ます。何故こんなことになったかという、携帯や財布を時々忘れて途中で引き返すことが何度かあったからです。それからこの呪文のようなやり取りが始まったのですが、当初は小学生じゃあるまいし、と憤慨しながら「うん、うん、うん」の生返事を繰り返していました。それでもまた携帯電話を忘れてしまい、妻の呪文はさらに大きな声で発せられるようになりました。確かに「忘」という字は「心」が「亡」になると書くので、うわの空の生返事では妻の努力も報われません。

以前から物をよく失くす、どこに行ったか分からなくなっていつも物を探している、とかどうも妻は認知症になるのではと心配しているようです。妻の口癖は「物忘れがひどいね、大丈夫?」です。私も心の中では、「おまえだって、やれ塩を買うのを忘れたとか、洗剤を買うのを忘れたとか言っているじゃないか」と反抗しています。そもそも物忘れは老化の兆しかもしれませんが認知症とは区別しなければなりません。私は専門家ではないのでその違いを詳しく述べることはできません。しかし、昨夜何を食べたか思い出せないことはありますが、昨夜食べたことは覚えていますが、その患者さんの手術をしたことは覚えていますが、したがって私は認知症ではありません。少なくとも現在は…。

外来診察中に、物忘れがひどくて認知症じゃないかと患者さんから相談を受けることがあります。そもそも患者さん自身が、物忘れがひどいと訴えること自体が認知症ではありません。また「実は私も物忘れは

ひどいですよ」と話すと何故か患者さんは皆安心して帰られます。さてここで皆さん、こんなに物忘れのひどい外科医がちゃんと手術できるのだろうか、と不安になりませんか?大丈夫です。まず手術中はとにかく神経を集中し、色々な状況を想定して手術を行っており、「心」は「亡」になっていません。また一人で手術することはありません。手術中は助手(外科医)、麻酔科医、器械出しの看護師さんなど複数の監視の目が行き届いています。もし万が一、私の物忘れが原因で手術中の患者さんに何か不利益なことが起こりそうになったらそれを未然に防ぐための安全弁が幾重にも施されています。またその安全弁をさらに強化するために常に改良が加えられています。

1年位前に色々事情があって奥歯が2本なくなりました。なくなったと言ってもどこかに忘れたわけではありません、ちゃんと歯医者さんで抜いてもらいました。さすがに奥歯が2本ないと上手く噛めないのでフレキシサイトという部分入れ歯みたいなものを作りました。しかしそれも失くしてしまい、最近新しいフレキシサイトを作ってもらいました。それでも時々フレキシサイトを付け忘れるため、毎朝発せられる妻の呪文に「フレキシサイト付けた?」という項目が加わり、さらに長い呪文になりました。このまま私の物忘れが続くと呪文の項目がどんどん増えるので、「心」を「亡」くさず、神経を集中して家を出ようと決心しました。



院長補佐(消化器・乳腺・移植外科主任部長) 板本敏行(いたもととしゆき)

## 病棟編

### 看護部だより

#### 南4病棟

南4病棟は、呼吸器内科・呼吸器外科及びリウマチ科の病棟です。喘息、肺炎、肺気腫などの内科的な治療や気胸などの外科的な治療、リウマチなどの専門的な治療が必要な患者さんが多く入院されています。また、高齢者に多い誤嚥性肺炎や、季節に関連した肺炎、その他の感染症の入院患者さんも多く入院されています。退院前はリハビリテーション科や認定看護師と連携し、リハビリも積極的に取り入れています。

患者さんがその人らしく過ごせ、患者さんやご家族の方が安心して治療を受けることのできる『環境づくり』、親切で温かく、なんでも話していただける『病棟づくり』を目指しています。



南4病棟スタッフ